

行政事業レビューについて（要請）

先般の「秋のレビュー」において、基地周辺対策経費の特定防衛施設周辺整備調整交付金についての議論が行われました。行政改革推進会議の評価は、「交付金の使途が事業目的を満たしているとは言い難く、特に生活環境の改善につながっているのか効果検証も十分に行われているとは言い難い」というものでした。

米軍横田基地は、未だ環境基準を達成されない騒音被害や航空機事故等への不安のほか、市街地の分断による交通渋滞に加え、都市計画などのまちづくりにおいても大きな支障となり、市民生活に大きく影響を与えています。

国防は国の専管事項であり、このような基地に起因する問題への対応は、国の責任のもと、広く国民全体の負担をもって適切に行われるべきであります。

私どもは、基地周辺住民の理解を得るため、少しでも生活環境の改善を図る方法として、調整交付金を基に事業を実施しております。事業の実施に際しては、被害を受けている基地周辺住民の要望、苦情が多様化していることを踏まえ、限られた予算のなかで、常に最大限の効果を上げる事業を選定し、議会の承認を得て決定しております。

今回の評価は、横田基地が人口の密集した市街地に所在し、航空機の騒音に悩まされ続けている周辺住民の気持ちをまったく理解されていないものであり、看過できません。

本交付金の趣旨を改めてご理解いただき、「秋のレビュー」の評価について再検討され、ご回答くださいますようお願いいたします。

平成25年11月29日

行政改革担当大臣 稲田 朋美 様

横田基地周辺市町基地対策連絡会構成市町長

立川市長	清水庄平
昭島市長	北川 穰一
福生市長	加藤 育男
武蔵村山市長	藤野 勝
羽村市長	並木 心
瑞穂町長	石塚 幸右衛門

幹 事 昭島市長 北川 穰一

